

平成20年度予算のあらまし

平成20年2月

東京二十三区清掃一部事務組合

目 次

1	予算編成の基本方針	1p
2	歳入歳出予算の概要	2p
3	平成20年度予算の特徴	5p
4	主な事業の概要	
(1)	清掃工場の建設	7p
(2)	施設整備計画における整備スケジュール	7p
(3)	溶融スラグ有効利用の促進	8p
(4)	平成20年度 ごみの流れ	9p
5	平成20年度特別区分担金納付額等	10p

1 予算編成の基本方針

平成20年度予算は、全ての工場が稼動する清掃工場運営費や、これまで施設整備費の財源として発行した組合債の元利償還金の増加が見込まれたため、本組合の「経営計画」「経営改革プラン」の内容を踏まえ、全ての経費において徹底的な点検、見直しを行うこととし、以下の6つの編成方針に基づき編成しました。

《編成方針》

- 1 「一般廃棄物処理基本計画」の着実な達成を図ること。
- 2 平成20年度の予算要求は経費については、昨年に引き続きゼロシーリングとする。よって、平成19年度予算に対して同額以下の範囲内で要求すること。
また、事務事業の実施方法について、アウトソーシングなどによる民間活力の積極的な導入を図ること。
- 3 経費の見積りにあたっては、過去の決算状況を分析し、実績を踏まえ見積ること。
また、全ての契約行為の予算の見積りにあたっては、直近の契約実績を反映させ、より実績に近い金額で予算要求すること。
- 4 職員定数については、別に定める「平成20年度組織及び職員定数について」に基づき適正化を図り、より効率的かつ効果的な執行体制を構築すること。
- 5 施設の建設、改築及び改修にあたっては、建設コストの縮減に努めるとともに、事業運営の合理化及び維持管理費の縮減に十分配慮すること。
また、予算要求にあたっては、関係部課と十分に調整し、工事の重複等がないように留意すること。
- 6 歳入の見積りにあたっては、国庫支出金については国の予算編成の動向を注視し、確実に財源を確保すること。また、自主財源については、積極的な見込により、最大限の増収に努め、予算要求すること。

2 歳入歳出予算の概要

平成 20 年度の一般会計予算の総額は、736 億 1,700 万円となり、前年度の 757 億 2,500 万円に対し、▲21 億 800 万円、▲2.8%の減となりました。内訳は、3・4 ページの表及びグラフのとおりです。

平成 20 年度予算では、清掃工場の建設等に要する経費である「施設整備費」が前年度に対し▲39 億 3,800 万円、▲48.2%の減となりました。これは、世田谷清掃工場建設工事が終了したことなどによるもので、投資的経費が減となったことが大きな要因となっています。

一方、清掃工場等の維持管理及び運営に要する経費である「清掃費」は、世田谷清掃工場の平年度化など全ての清掃工場等が稼動しますが、サーマルリサイクルの削減効果などを見込み、前年度に対し 2 億 9,200 万円、0.6%の増に抑えています。

また、組合債の償還等に要する経費である「公債費」は、平成 17 年度に発行した組合債の元金償還の開始等により、前年度に対し 18 億 8,000 万円、19.0%の増となっています。

次に、歳入では、本組合の歳入の根幹である特別区分担金が 440 億 7,400 万円で、前年度に対して、5 億円、1.1%の増となっています。

これは、平成 20 年 4 月から廃棄物処理手数料が改定され、17 億 9,900 万円 12.1%の増となったものの、歳出において清掃工場等運営経費、公債費などの一般財源による需要が大幅に増加したことが、分担金の増加要因となっています。

このため、昨年同様財政調整基金から残高の全額である 61 億 7,600 万円を繰入れ、更に平成 19 年度補正予算で積立てる基金の財源から 7 億 600 万円、計 68 億 8,200 万円を繰入れ、可能な限り特別区分担金の抑制に努めました。

なお、財政調整基金につきましては、平成 19 年度補正予算において、歳入の決算額見込み、歳出の不用額などを最大限精査し、平成 20 年度以降の財源対策を図るため 79 億 1,000 万円を積立えています。

また、特定財源においては、施設整備事業費の減に伴い、前年度に対して、国庫支出金が▲5 億 7,100 万円、▲91.8%、組合債が▲33 億 100 万円の皆減と、それぞれ大幅な減となっています。

平成 20 年度の特別区分担金の区別算定につきましては、10 ページに記載してありますので、ご参照ください。

< 一般会計予算 >

		20年度予算	19年度予算		増減率
歳入歳出予算		73,617,000	75,725,000千円		2.8 %
債務負担行為	1件	28,000	756,000千円		96.3 %
(組合債)			3,301,000千円		皆減

歳入歳出予算

歳 入

(単位:千円, %)

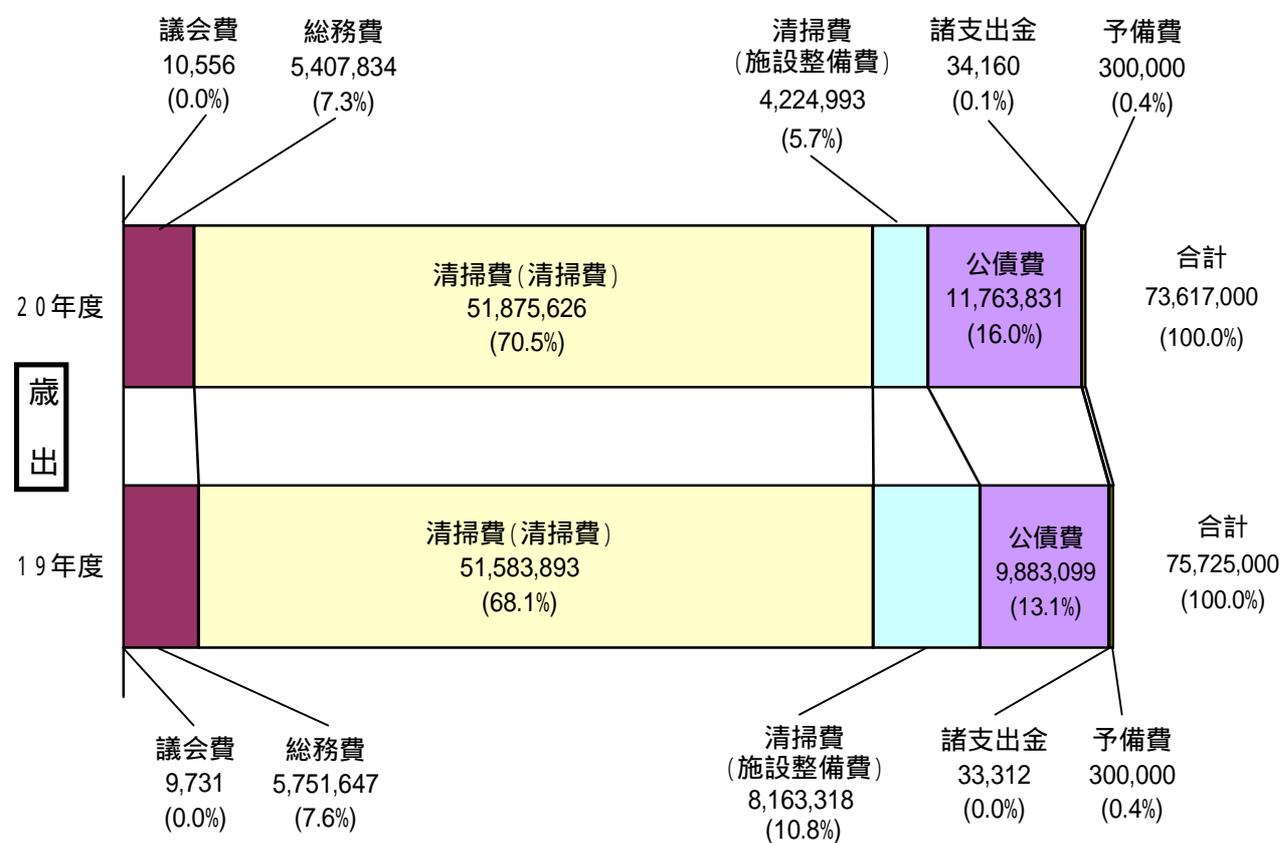
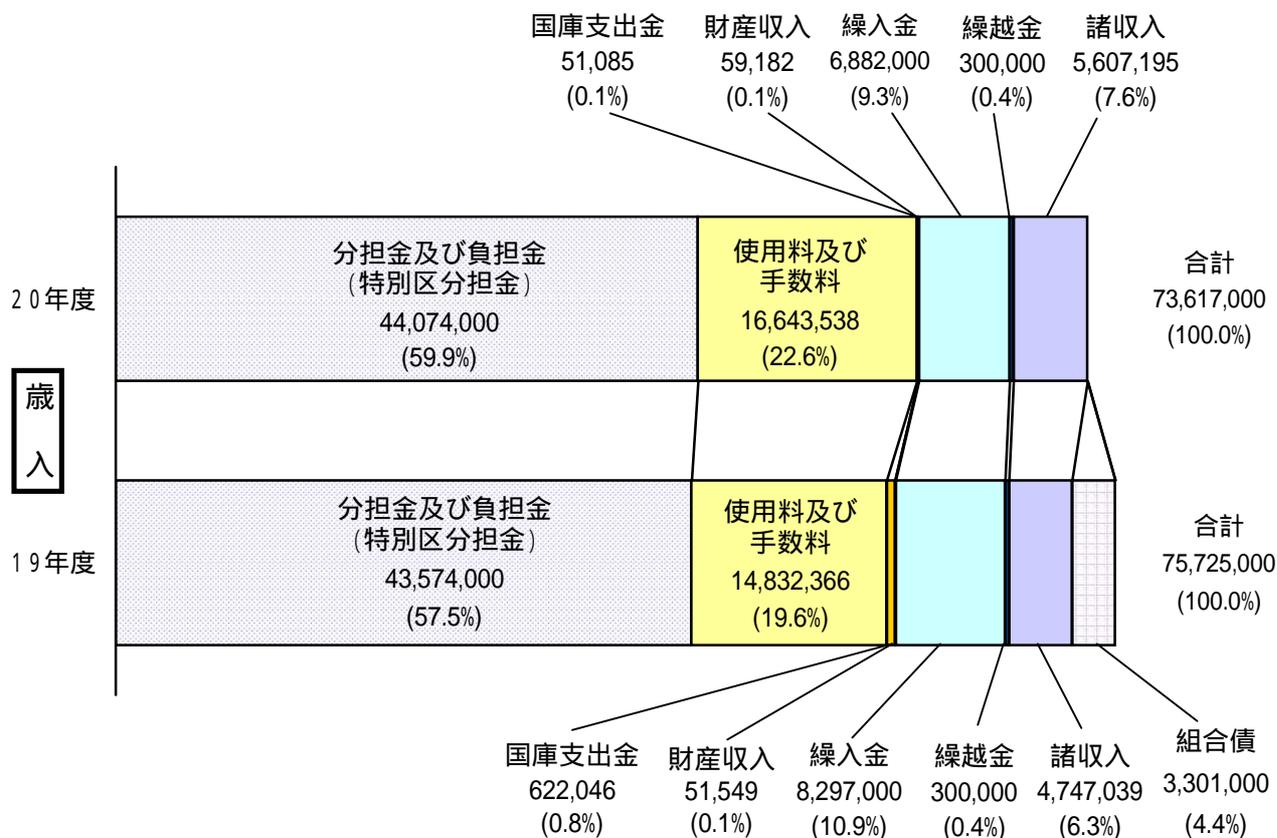
区 分	20年度予算		19年度予算		比較増()減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 分担金及び負担金	44,074,000	59.9	43,574,000	57.5	500,000	1.1
(うち特別区分担金)	44,074,000	59.9	43,574,000	57.5	500,000	1.1
2 使用料及び手数料	16,643,538	22.6	14,832,366	19.6	1,811,172	12.2
(うち廃棄物処理手数料)	16,625,711	22.6	14,826,442	19.6	1,799,269	12.1
3 国庫支出金	51,085	0.1	622,046	0.8	570,961	91.8
4 財産収入	59,182	0.1	51,549	0.1	7,633	14.8
5 繰入金	6,882,000	9.3	8,297,000	10.9	1,415,000	17.1
6 繰越金	300,000	0.4	300,000	0.4	0	0.0
7 諸収入	5,607,195	7.6	4,747,039	6.3	860,156	18.1
(組合債)	0	0.0	3,301,000	4.4	3,301,000	皆減
歳入合計	73,617,000	100.0	75,725,000	100.0	2,108,000	2.8

歳 出

(単位:千円, %)

区 分	20年度予算		19年度予算		比較増()減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 議会費	10,556	0.0	9,731	0.0	825	8.5
2 総務費	5,407,834	7.3	5,751,647	7.6	343,813	6.0
3 清掃費	56,100,619	76.2	59,747,211	78.9	3,646,592	6.1
(清掃費)	51,875,626	70.5	51,583,893	68.1	291,733	0.6
(施設整備費)	4,224,993	5.7	8,163,318	10.8	3,938,325	48.2
4 公債費	11,763,831	16.0	9,883,099	13.1	1,880,732	19.0
(うち組合債元利償還金)	11,763,206	16.0	9,882,893	13.1	1,880,313	19.0
5 諸支出金	34,160	0.1	33,312	0.0	848	2.5
6 予備費	300,000	0.4	300,000	0.4	0	0.0
歳出合計	73,617,000	100.0	75,725,000	100.0	2,108,000	2.8

(単位:千円)



3 平成20年度予算の特徴

平成20年度予算の特徴及び施設整備事業は、次のとおりです。今後の事業展開のために必要とされる経費については、重点的に予算を配分しました。

(単位：千円)

項 目	金 額	説 明
1 廃棄物処理手数料の改定	—	平成6年7月以来、およそ14年ぶりに廃棄物処理手数料を2円/kg引き上げ、14.5円/kgに改定する(管路収集は4円/kg引き上げて、32.5円/kg)。この改定による増収効果として、21億2,200万円を見込む。
2 溶融処理技術対策	18,000	灰溶融施設のさらなる安定稼働に向けて、より安全で安定的な溶融処理技術を確立する必要があるため、溶融処理技術の調査・研究等を行う。
3 施設状況システムの構築	52,578	より安全・安心な工場運営を行うため、飯田橋本庁や各工場でも全工場の稼働状況を常時確認できるよう、統一的なシステムを構築する。
4 清掃工場等の環境測定	1,223,372	清掃工場等の公害防止、環境等への影響確認のため、排ガス、排水、焼却灰、周辺大気等の測定を行う。廃プラスチックのサーマルリサイクルに係る実証確認もあわせて行うため、排ガスのダイオキシン類測定についてはこれまでの年2回を年4回実施し、充実を図る。
5 世田谷清掃工場の平年度化	2,160,002	世田谷清掃工場が平成20年度から通年稼働する経費を計上する。 (対前年度 1,108,824 千円増)
6 清掃工場の運転管理委託	—	アウトソーシング推進の一環として、新たに墨田・北・江戸川清掃工場の運転管理の一部を委託、既に運転管理の一部を委託している4工場については全面委託に拡大し、組織のスリム化を図る。
7 大田清掃工場の建設	1,181,495	第一工場操業継続のための灰処理設備及び受変電設備の整備等として7億2,400万円、第二工場の維持管理及び解体前清掃の経費として4億5,700万円を計上する。

(次ページに続く)

(単位：千円)

項 目	金 額	説 明
8 練馬清掃工場、杉並清掃工場の建設	133,066	練馬清掃工場は平成22年度、杉並清掃工場は平成24年度の着工に向けて、環境影響調査等の経費を計上する。(杉並清掃工場の環境影響調査は2か年で実施する)
9 廃プラスチックのサーマルリサイクルの本格実施	—	中防不燃ごみ処理センター第一プラントの停止、不燃・粗大ごみ処理作業経費の減、大田清掃工場第二工場の停止、埋立処分委託料の減により、対前年度 24億4,100万円の経費減を見込む。
10 清掃工場の地球温暖化対策	20,000	清掃工場における地球温暖化対策方針を確立するための基礎調査等の経費を計上する。

○施設整備事業一覧

(単位：千円)

区 分	事 業 費	整 備 内 容
清掃工場の建設	1,241,140	一般廃棄物処理基本計画に基づき、清掃工場の建替え等を行う。
世田谷清掃工場		環境影響調査
渋谷清掃工場		未買収用地の取得
練馬清掃工場		環境影響調査
大田清掃工場		第一工場操業継続整備工事等
杉並清掃工場		整備計画策定調査等
灰溶融施設の建設	14,599	
中防灰溶融施設		環境影響調査
清掃工場の施設整備	2,712,638	既設清掃工場の改修を行い、機能の維持・向上を図る。
公害監視設備整備		新江東、墨田清掃工場等
建築設備等整備		有明清掃工場等
その他設備整備		有明、目黒、江戸川清掃工場等
不燃・粗大ごみ処理施設の整備	245,190	不燃・粗大ごみ処理施設の改修を行い、機能の維持・向上を図る。
中防不燃ごみ処理施設		

4 主な事業の概要

(1) 清掃工場の建設

一般廃棄物処理基本計画中の施設整備計画に基づき、下表のとおり整備を進めていきます。なお、平成20年度予算では、各施設について次の経費を計上しました。

- 練馬清掃工場
平成22年度の着工に向けて、引き続き環境影響調査を行います。
- 大田清掃工場(第一期)
平成21年度の着工に向けて、大田清掃工場第一工場の操業継続に必要な整備工事を行います。
- 杉並清掃工場
平成24年度の着工に向けて、整備計画策定調査及び環境影響調査を行います。

(2) 施設整備計画における整備スケジュール

施設名 (焼却炉規模、灰溶融炉規模)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
練馬清掃工場 (500t/日、-t/日)				[整備期間: 22年度 - 27年度]						
大田清掃工場 (第一期) (600t/日、140t/日)			[整備期間: 21年度 - 25年度]							
杉並清掃工場 (600t/日、-t/日)						[整備期間: 24年度 - 27年度]				

- 練馬清掃工場
所在地 練馬区谷原六丁目10番11号
工事期間 平成22年度から平成27年度まで
処理能力 焼却炉 500t/日 (250t/日・炉×2基)
- 大田清掃工場(第一期)
所在地 大田区京浜島三丁目6番1号
工事期間 平成21年度から平成25年度まで
処理能力 焼却炉 600t/日 (300t/日・炉×2基)
灰溶融炉 140t/日 (70t/日・炉×2基)
- 杉並清掃工場
所在地 杉並区高井戸東三丁目7番6号
工事期間 平成24年度から平成27年度まで
処理能力 焼却炉 600t/日 (300t/日・炉×2基)

(3) 溶融スラグ有効利用の促進

焼却により発生した焼却灰等を1, 200℃以上の高温で溶融し、急速に冷却すると、砂状の溶融スラグになります。溶融処理は、灰中の重金属類の溶出防止及びダイオキシン類の分解・削減に有効であり、無害化することができます。

溶融スラグは、容積が灰の約2分の1になるのみならず、砂の代替品として土木・建設資材への利用が可能であり、その有効利用を促進することで埋立処分量の削減を図ることができます。

本組合では、平成13年6月に「焼却灰溶融スラグの利用促進等に関する方針」を定め、利用拡大に向けた取り組みを進めています。

○溶融スラグの利用促進

溶融スラグの全量有効利用に向けて、本組合の発注する工事等において積極的に利用するほか、23区をはじめ国、東京都、民間事業者等への利用の働きかけを行っています。

平成20年度は、埋め戻し材としての追跡調査のほか、スラグを配合した改良土、再生路盤材への適用性評価調査など、用途開発への取り組みも積極的に行っています。

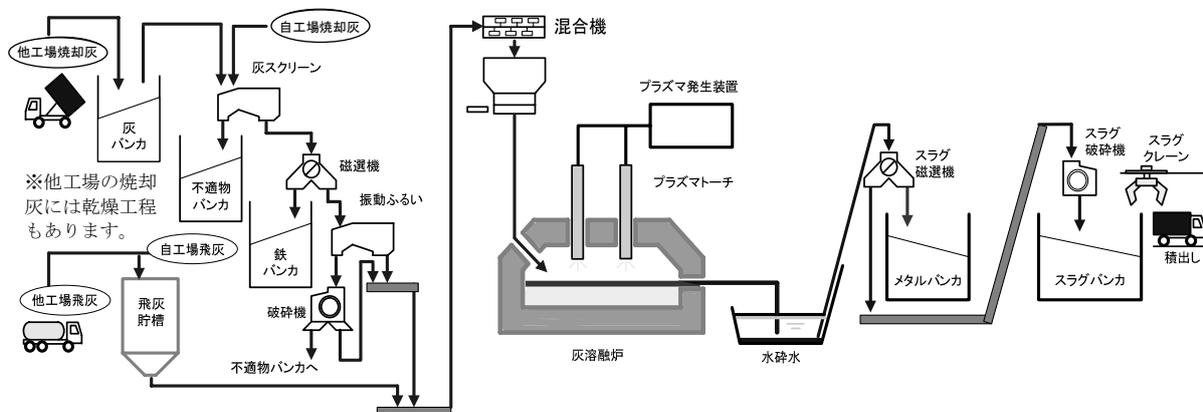
○溶融スラグの供給

溶融スラグが土木・建設資材等に利用されるためには、安全なものが安定して供給されることが必要であることから、JISに基づく品質管理、灰溶融施設に隣接した貯留施設の整備などを進めています。

また、平成19年12月に「溶融処理技術対策室」を設置し、灰溶融施設のさらなる安定稼働に向けて、より安全で安定的な溶融処理技術を確立するための調査研究等を進めています。

灰溶融設備 概略図

足立清掃工場を例にして、積み出しまでの流れを図にしています。有効利用するスラグは、スラグ貯留施設から各利用先に運ばれます。



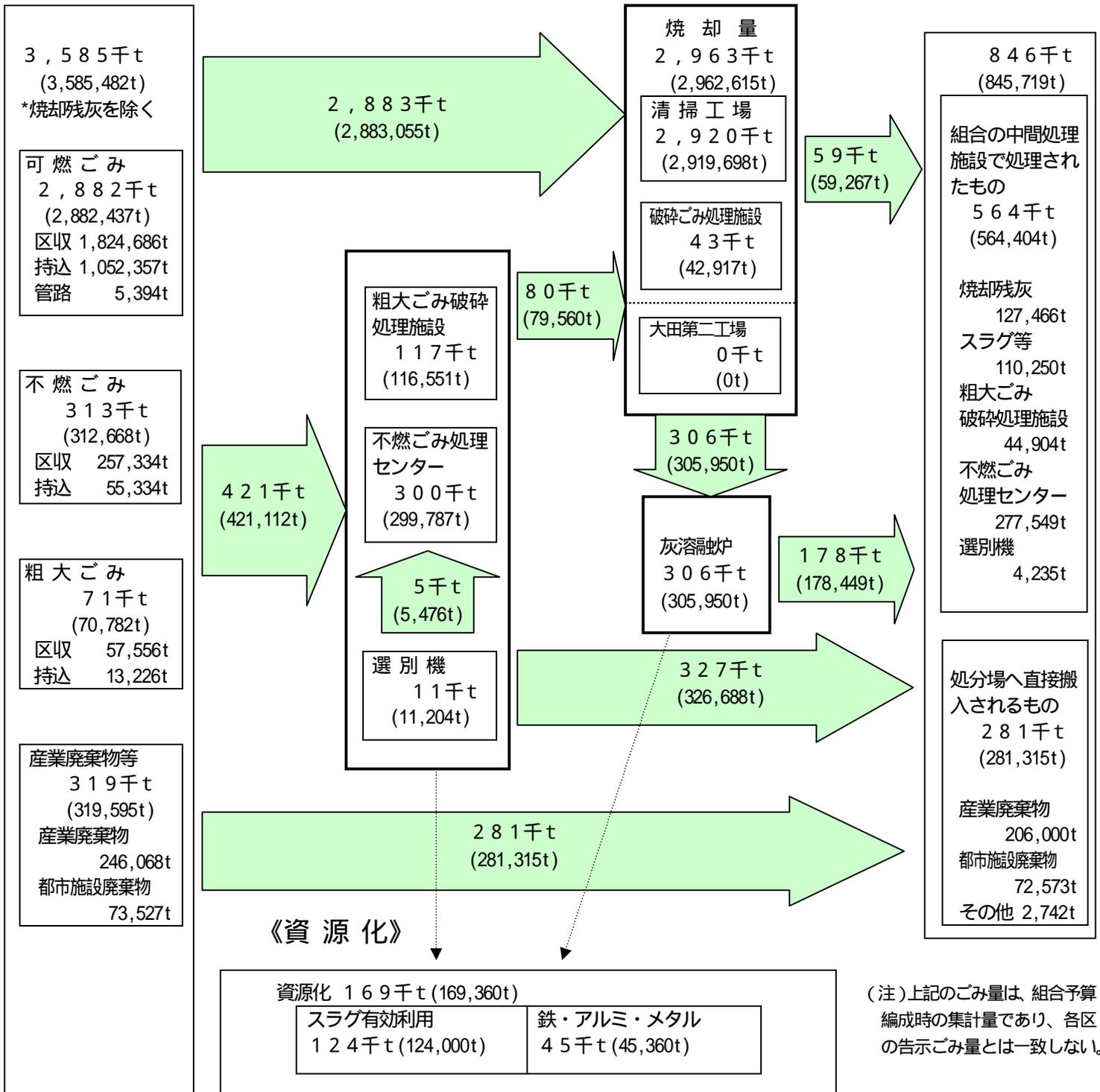
(4) 平成20年度 ごみの流れ (予算編成時の集計年量による)

ごみ量 3,585千t (3,585,482t) *焼却残灰を除く	-	中間処理による減量 2,570千t (2,570,403t)	-	資源化量 169千t (169,360t)	=	埋立処分量 846千t (845,719t)
---	---	---	---	------------------------------------	---	-------------------------------------

《搬入》

《中間処理》

《最終処分》



(注) 上記のごみ量は、組合予算編成時の集計量であり、各区の告示ごみ量とは一致しない。

5 平成20年度 特別区分担金納付額等

【23区ごみ量実績】(A)	3,331,108.91 t	【区収ごみ相当分担金 (G) = (D) × (B)】	
18年度 区収ごみ量23区計	2,209,111.23 t		39,782,362千円
区収ごみ割合 (B)	66.318%	【持込ごみ相当分担金基礎額 (H) = (D) × (C)】	
18年度 持込ごみ量23区計	1,121,997.68 t		20,204,914千円
持込ごみ割合 (C)	33.682%	【持込ごみ相当分担金 (I) = (H) - (F)】	
【分担金算出基礎額】(D)	59,987,276千円		4,291,638千円
20年度 分担金23区計(E)【予算額】	44,074,000千円		
20年度 手数料収入計(F)【予算額】	15,913,276千円		

単位：千円

区分 区名	区収相当分			持込相当分			平成20年度 区別分担金	平成18年度 分担金 精算額	平成20年度 区別分担金 納付額
	区収ごみ量 (トン)	割合	区収相当分	人口(人) (H19年4月 1日現在)	割合	持込相当分			
	a	b	c = (G × b)	d	e	f = (I × e)	g = (c + f)	h	i = (g + h)
千代田	23,613.09	1.069%	425,273	47,424	0.548%	23,518	448,791	11,626	437,165
中央	41,680.84	1.887%	750,693	106,996	1.237%	53,088	803,781	18,295	785,486
港	66,652.89	3.017%	1,200,234	210,547	2.434%	104,458	1,304,692	36,246	1,340,938
新宿	93,333.24	4.225%	1,680,805	308,292	3.564%	152,954	1,833,759	34,602	1,799,157
文京	49,471.11	2.239%	890,727	190,820	2.206%	94,674	985,401	15,063	1,000,464
台東	58,561.26	2.651%	1,054,630	172,812	1.997%	85,704	1,140,334	38,331	1,102,003
墨田	65,229.07	2.953%	1,174,773	239,296	2.766%	118,707	1,293,480	61,691	1,231,789
江東	108,543.77	4.914%	1,954,905	441,666	5.105%	219,088	2,173,993	34,488	2,208,481
品川	84,539.04	3.827%	1,522,471	350,422	4.050%	173,811	1,696,282	3,661	1,692,621
目黒	64,249.95	2.908%	1,156,871	259,276	2.997%	128,620	1,285,491	10,402	1,295,893
大田	159,980.10	7.242%	2,881,039	681,857	7.882%	338,267	3,219,306	16,371	3,235,677
世田谷	203,667.84	9.220%	3,667,934	836,327	9.667%	414,873	4,082,807	58,872	4,141,679
渋谷	67,376.04	3.050%	1,213,362	207,757	2.401%	103,042	1,316,404	11,220	1,305,184
中野	77,148.34	3.492%	1,389,200	309,824	3.581%	153,684	1,542,884	18,727	1,524,157
杉並	125,418.62	5.677%	2,258,445	531,675	6.146%	263,764	2,522,209	3,720	2,525,929
豊島	73,361.72	3.321%	1,321,172	256,396	2.964%	127,204	1,448,376	11,805	1,436,571
北	81,831.22	3.704%	1,473,539	330,183	3.817%	163,812	1,637,351	3,171	1,640,522
荒川	52,027.45	2.355%	936,875	194,002	2.242%	96,219	1,033,094	7,224	1,040,318
板橋	125,817.92	5.695%	2,265,605	527,207	6.094%	261,532	2,527,137	4,812	2,522,325
練馬	164,826.30	7.461%	2,968,162	692,899	8.009%	343,717	3,311,879	36,021	3,347,900
足立	158,712.08	7.184%	2,857,965	648,693	7.498%	321,787	3,179,752	28,489	3,208,241
葛飾	106,606.76	4.826%	1,919,897	441,265	5.101%	218,916	2,138,813	25,024	2,113,789
江戸川	156,462.58	7.083%	2,817,785	665,633	7.694%	330,199	3,147,984	10,273	3,137,711
合計	2,209,111.23	100.000%	39,782,362	8,651,269	100.000%	4,291,638	44,074,000	0	44,074,000